

取扱説明書

型番:TA2C-M8AC

このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お求めいただきましたこの製品の型番は「TA2C-M8AC」です。

筐体/回路設計および使用方法は「TA2C-M8」と共通ですが、充電手法を含む電源管理ソフトウェアにつきましては、常に製品本体へ外部電源が接続された状態で設置・使用する運用方法に適したプログラムを搭載しています。

本書では、本機「TA2C-M8AC」の特長である電源管理ソフトウェアの仕様などを説明します。

本機の一般的な操作方法や注意事項につきましては、別冊の「TA2C-M8」の取扱説明書を併せてご覧ください。

1. 特長

本機は常に外部電源を接続した状態で設置・使用できるバッテリー内蔵タブレットです。

(内蔵バッテリーは短時間の電源バックアップ用ですので、常に付属のACアダプターなど外部電源が接続されている状態でご使用ください。)

本機はリチウムイオンバッテリーを内蔵しています。

リチウムイオンバッテリーは、一般的に、35℃を超える高温環境での使用や保管、低充電残量での使用や保管、および満充電後も外部電源を接続したまま長期間放置した場合、特に劣化スピードが早まります。常に外部電源を接続したまま製品使用を続ける“ながら充電”は、バッテリーに高ストレスがかかっている満充電付近で、頻繁に小刻みな充電電が繰り返されるため、バッテリーの劣化はさらに早まります。このため、一般的なタブレットやスマートフォンは、満充電後速やかに外部電源を取り外すよう注意喚起されています。

本機は、外部電源遮断で電源をOFFにする際のOS終了処理作業や停電・瞬断時のバックアップ電源としてバッテリーを内蔵しつつ、通常動作時は専ら外部電源を使用する設置用途を実現するために、バッテリーの充放電ストレスを大幅に軽減する電源管理プログラムを標準搭載しています。

2. 本機でできること

■安心稼働

通常動作はACアダプターなど外部電源でおこないます。※1※2

停電・瞬断時や電源ケーブル抜けなどの人為的トラブルにより外部電源が遮断されても、内蔵バッテリー(バックアップ電源)での動作に切り替わり、突然のシステムダウンによる異常終了の発生などを防止するため、安心して使用できます。

■ブレーカーON/OFF

外部電源の立ち上げによる自動電源ON、および電源遮断による安全な(正しいOS終了処理をともなった)自動電源OFFが可能です。

ブレーカーでまとめて電源ON/OFFができるので、個別に電源操作をする手間が省けます。

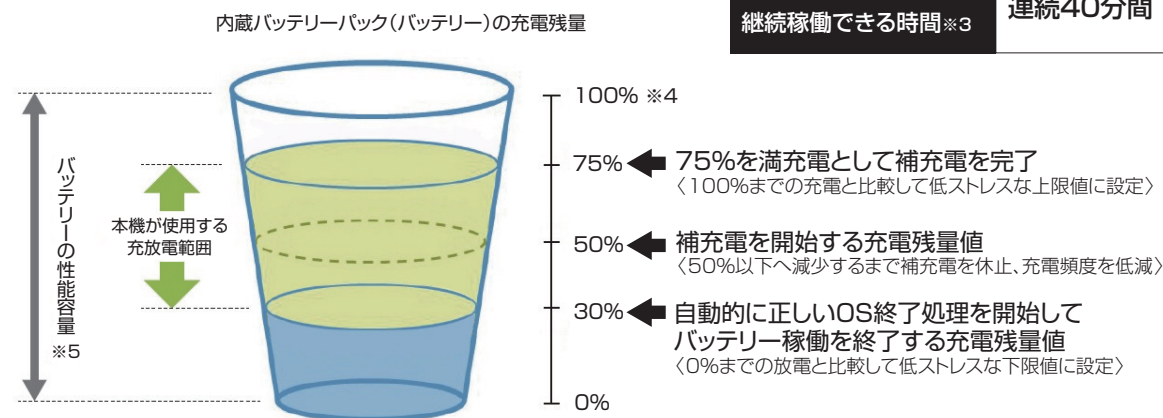
なお、外部電源遮断から正しいOS終了処理を開始するまでの時間は、用途に応じて設定可能です。

(詳細は裏面をご覧ください)

■本機のバッテリー充放電ストレス軽減手法

稼働範囲を制限することでバッテリー充放電ストレスを軽減し長期使用が可能です。

具体的な手法は以下のとおりです。



※1～5の注釈は裏面をご確認ください。

(⇒ 表面からのつづきです)

3. 各機能の設定方法

■外部電源の遮断から正しいOS終了処理開始までの時間設定方法

お買い上げ時設定：無効

- ①アプリ画面内「設定」アイコン⇒「ユーザー補助」の順にタップ
- ②「ACアダプター切断時自動シャットダウン機能」をタップ
- ③右の選択肢の中から任意の時間をタップ

外部電源遮断後、指定した時間経過後に本機が正しいOS終了処理を開始します。
(正しいOS終了処理動作開始前に再度外部電源が接続されると経過時間はリセットされます。)

- 自動シャットダウン
- 無効 (バッテリーが30%になるとシャットダウンしません)
 - 15秒
 - 30秒
 - 1分
 - 2分
 - 5分
 - 10分
 - 30分

■外部電源接続による自動電源ON機能の設定方法

お買い上げ時設定：有効

- ①アプリ画面内の「設定」アイコン⇒「ユーザー補助」の順にタップ
- ②「ACアダプター接続時自動電源ON機能」をタップ

有効：電源OFFの本機に外部からの電源供給が開始されると、自動で電源がONになります。

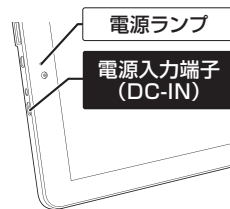
無効：本機の電源スイッチの操作で電源をONにします。



4. 本機の電源ランプについて

本機の電源ランプは以下の通り動作します。

給電状態	バッテリーの状態	本機の状態	電源ランプの動作
給電中	充電中	電源ON時	赤色点灯
		電源OFF時	赤色点灯
	充電休止中	電源ON時	緑色点灯
		電源OFF時	黒色(消灯)
給電遮断中	電源ON時	緑色点滅	
	電源OFF時	黒色(消灯)	



5. 本機の仕様について

■電波法について

本機は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が本機の設定画面内に表示されています。次の手順でご確認いただけます。

アプリ画面→「設定」アイコン→「タブレット情報」→「法的情報」→「認証」

本機内部の改造をおこなった場合、技術基準適合証明が無効となります。技術基準適合証明が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に改造をおこなわないでください。

注釈

- ※1 外部電源が接続されている間は、バッテリーの電力は使用されませんが、常にごく微量な自然放電はおこなわれます。
- ※2 本機のシステム消費電力とUSBポートに接続した外部機器等の消費電力の総和が、充電器の出力電力を上回る場合、外部電源接続時でもバッテリーの電力が使用されます。USBポート合計で消費電流が700mAを超えるようなUSB周辺機器を接続する場合は、セルフパワー方式のUSB機器をご使用ください。
- ※3 バッテリーの交換時期(バッテリーの寿命時期)に、50%の充電残量で継続稼働できる時間の目安です。ご購入当初の同稼働時間はこの約2倍です。
- ※4 %表示はいずれも性能容量における割合です。75%、50%、30%は概ねの値です。図は充電手法を説明するために、バッテリーの電荷量をコップの水に例えたイメージです。
- ※5 バッテリーは製品の使用にともない性能容量が徐々に劣化(減少)していきます。バッテリーは稼働時間が初期性能のおよそ半分になったら交換時期(寿命)です。

©2021-2022 ODS Corporation

DC1210-04B

2022年2月 二版

オーディーエス株式会社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5 京王神田須田町ビル

お問い合わせ先：オーディーエスPCカスタマーセンター

電話サポート窓口 ナビダイヤル 0570-001134

サポートホームページ <http://pc-support.jp.onkyo.com/>